

【資料】

朝鮮人強制連行期（1939～1945）の朝鮮人強制労働現場一覧 竹内康人作成

<http://www16.ocn.ne.jp/~pacohama/sensosekinin/flaber0506.html> より

0) はじめに

1) アイヌモシリ(北海道)

2) 東北 青森・岩手・宮城・山形・秋田・福島、新潟

3) 関東1 千葉・神奈川・山梨

4) 関東2 東京・埼玉・栃木・群馬・茨城

5) 中部・東海 愛知・静岡・三重・岐阜・長野・石川・富山

6) 近畿・四国 大阪・兵庫・奈良・和歌山・京都・福井・滋賀・高知・愛媛・香川・徳島

7) 中国 広島・岡山・山口・島根・鳥取

8) 九州1 佐賀・福岡・長崎

9) 九州2 大分・熊本・宮崎・鹿児島、 沖縄

0) はじめに

これまで全国各地で強制連行調査がおこなわれてきた。これらの調査は真相を明らかにするとともに、国境を越えて人々が手をつなぎ、かつての強制労働の現場をあらたな平和と友好の場所へと変えていく試みでもあった。

以下はその調査についてまとめたものである。なお市町村名は2000年時のものである。(竹内)

各地での調査によって強制連行が確認されているところは 印、強制連行については未だあきらかではないが朝鮮人の動員・就労が確認されているところは 印で示してある。

典拠について

- 「名簿」は連行に関する名簿の存在、
- 「記録」は連行や動員・就労について記された手記等の記録、
- 「記事」は当時の新聞記事、「調査」は調査により判明しているもの、
- 「協和」は中央協和会「移入朝鮮人労務者状況調」に記載のあるもの、
- 「厚生」は厚生省勤労局『朝鮮人労務者に関する調査』に記載があるもの、
- 「陸軍」は『朝鮮人陸軍軍人調査名簿』に記述があるもの、
- 「石炭」は石炭統制会の統計表に記載があるもの、
- 「統制」は日本土木建築統制組合の割当表に記載のあるもの、
- 「特高」は内務省警保局『特高月報』に、千葉県分の「特高」は千葉県警察部特高課史料に、「新特高」は新潟特高史料に記載のあるもの、
- 「社史」「廠史」は会社史等に記述のあるもの、
- 「市史」「町史」「村史」「市史」区史」は市町村史等に記述のあるもの、
- 「割当」は「半島人各府県別割当人員表」に記載のあるもの、
- 「鉄鋼」は「鉄鋼関係労務充足予定計画案」に記載のあるもの、
- 「知事」「引継」は知事引継関係史料に記述があるもの、
- 「県文・市文」は県や市の保管していた文書に記載があるもの、
- 「国鉄」は国鉄作成の「労務者配置状況」に連行者数の記載があるもの、
- 「証言」は連行や就労についての証言があるもの、を示している。

詳細については地域別の参考文献を参照してほしい。

以下、それぞれの地域の参考文献一覧である。

1) アイヌモシリ(北海道)

- 1 『北海道と朝鮮人労働者』朝鮮人強制連行実態調査報告書編集委員会 1999年
- 2 中央協和会「移入朝鮮人労働者状況調」1942年
- 3 内務省警保局『特高月報』『社会運動の状況』（『在日朝鮮人関係資料集成4・5』）
- 4 石炭統制会「主要炭鉱給源種別現在員表」「給源別労働者月末現在数調」（『戦時下朝鮮人中国人連合軍俘虜強制連行資料集』1）
- 5 日本土木建築統制協会「昭和20年第1次朝鮮人労働者割当表」
- 6 「半島人労働者配置状況」国鉄1945年（『資料集10』朝鮮人強制連行調査団）
- 7 北海道庁「第3次勤労働員実施計画表」1945年1月
- 8 札幌鉱山監督局「管内石炭山労働概況・管内金属山労働概況」1943年7月
- 9 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行強制労働の記録 北海道千島樺太編』現代史出版会1974年
- 10 西田秀子「戦時下北海道における朝鮮人「労働慰安婦」の成立と実態」（『女性史研究ほっかいどう』1）2003年
- 11 『一枚の火葬認許証から』釧路かささぎの会1994年
- 12 鄭哲仁『当事者が書いた強制連行』彩流社1999年

2) 東北 青森・岩手・宮城・山形・秋田・福島、新潟

- 1 厚生省勤労局「朝鮮人労働者に関する調査」1946
- 2 中央協和会「移入朝鮮人労働者状況調」1942
- 3 日本土木建築統制協会「昭和20年第1次朝鮮人労働者割当表」
- 4 「半島労働者配置状況」国鉄関係1945
- 5 長澤秀編『戦時下朝鮮人中国人連合軍捕虜強制連行資料集』緑陰書房1992
- 6 福島県内政部労政課『涉外関係綴』・常磐炭鉱資料ほか（長澤秀編『戦時下強制連行極秘資料集東日本編』緑陰書房1996）
- 7 新潟県警察部特別高等課『内鮮関係書類綴』（『朝鮮問題資料叢書13』所収）
- 8 古庄正「連行朝鮮人未払い金供託報告書」駒沢大経済学会23-1 1991
- 9 古庄正「在日朝鮮人労働者の賠償要求と政府及び資本家の対応」（『朝鮮人強制連行論文集成』明石書店1993所収）
- 10 多賀城海軍工廠を調査する会「多賀城海軍工廠の記録」（同）
- 11 佐久間昇「太平洋戦争下山形県における朝鮮人労働者の強制連行をめぐって」（同）
- 12 山田昭次「山形県最上郡大蔵村古河永松鉱業所朝鮮人強制連行覚書」（同）
- 13 伊田稔「山形県における朝鮮人強制連行の概況」（同）
- 14 長澤秀「戦時下常磐炭田における朝鮮人鉱夫の労働と闘い」（同）
長澤秀「ある朝鮮人炭鉱労働者の回想」（同）
長澤秀「常磐炭田における朝鮮人労働者について」（同）
- 15 山田昭次「福島県西部地方朝鮮人強制連行の記録」（同）
- 16 長澤秀『新潟県と朝鮮人強制連行』（同）
佐藤泰治「新潟県における朝鮮人中国人強制連行連行に関するノート」（同）
- 17 『アイゴーの海 浮島丸事件下北からの報告』下北の地域文化研究所1994
- 18 浮島丸事件殉難者追悼実行委員会『浮島丸事件の記録』かもがわ出版1989

- 19 歴教協東北ブロック『語り継ぐ東北と15年戦争』三省堂1997
- 20 許在文・金潤任『はてしなき生涯』1992
- 21 相沢一正「朝鮮人強制連行とその労働生活 岩手県六黒見鉱山の場合」(『近代日本社会発達史論』)ペリカン社1998
- 22 金賛汀『証言朝鮮人強制連行』新人物往来社1975
- 23 『太平洋戦争中の細倉鉱山における朝鮮人労働者の実態』日朝協会仙台支部1963
- 24 李又鳳『傷跡は消えない』1991
- 25 野添憲治『秋田の朝鮮人強制連行』1999
- 26 秋田県朝鮮人強制連行調査団調査報告資料2004
- 27 進藤孝一『宮田又鉱山』仙北郡協和町公民館1980
- 28 佐藤光安『韓国の心を知る旅』かもがわ出版1996
- 29 山形平和の旅訪中団『酒田港における中国人強制連行の記録』1999
- 30 大塚一二『トラジ福島県内の朝鮮人強制連行』1992
- 31 石田真弓『故郷はるかに』アジア問題研究所1985
- 32 百万人の身世打鈴編集委員会『百万人の身世打鈴』東方出版1999
- 33 『被徴用者死亡者連名簿』
- 34 『特高月報』
- 35 戸田組社史(『朝鮮人強制連行調査の記録関東編1』所収)
- 36 朝鮮人強制連行真相調査団『1970年代強制連行真相調査団の記録』1992復刻版
- 37 兵庫朝鮮関係研究会『地下工場と朝鮮人強制連行』明石書店1990
- 38 樋口雄一『戦時下朝鮮の農民生活誌』社会評論社1998
- 39 『朝鮮人軍人調査名簿』
- 40 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録中国編』柏書房2001
- 41 『告発証言集2』朝鮮日本軍「慰安婦」強制連行被害者補償対策委員会2003
- 42 大日本産業報国会『殉職産業人名簿』

3) 関東1 千葉・神奈川・山梨

- 1、中央協和会「移入朝鮮人労務者状況調」一九四二年
- 2、厚生省勤労局「鉄鋼関係労務充足予定計画案」(『神奈川と朝鮮』所収)
- 3、川崎市『川崎空襲戦災の記録』一九七四～七七年
- 4、神奈川県と朝鮮の関係史調査委員会『神奈川と朝鮮』神奈川県一九九四年
- 5、逗子市朝鮮人労働調査委員会『戦時下逗子の朝鮮人労働者』逗子市一九九五年
- 6、脇本寿『朝鮮人強制連行と私』神戸学生青年センター一九九四年
- 7、日本土木建築統制組合「昭和20年度第1次朝鮮人労務者割当表」
- 8、「半島労務者配置状況」(朝鮮人強制連行真相調査団『資料集』10・一九九六年)
- 9、神奈川県歴史教育者協議会『神奈川県の戦争遺跡』大月書店一九九六年
- 10、『相模湖ダム建設殉難者合同追悼会しおり』同実行委員会
- 11、神奈川県朝鮮人強制連行真相調査団『強制連行の傷跡』1～4 一九九三～四年
- 12、寺田貞治「日吉台地下壕について」.日吉台地下壕保存の会『日吉台地下壕』一九九三年
- 13、戦時下の県立平塚高女を記録する会『火薬廠のある町で』夢工房一九九七年
- 14、金景錫さんの日本鋼管訴訟を支える会『訴えられる日本鋼管』一九九三年、古庄正編『強制連行の企業責任』創史社一九九三年、山田昭次・田中宏編『隣国からの告発』創史社一九九六年
- 15、石坂浩一・竹内理恵『在日朝鮮人と「赤ひげ」群像』リベルタ出版一九九七年
- 16、朝鮮人強制連行の真相を調査する千葉県朝日合同調査団『日立航空機地下工場関係調査中間報告』1・2 一九九一年
- 17、朝鮮人強制連行の真相を調査する千葉県朝日合同調査団『第2海軍航空廠と朝鮮人労働者』

- 1・2 一九九一年、千葉県歴史教育者協議会『千葉県の民衆の歴史 50 話』桐書房一九九二年
- 18、長澤秀「千葉県における 8・15 解放前後の朝鮮人の状況とその運動」(『在日朝鮮人史研究』21) 一九九一年
- 19、西野留美子『従軍慰安婦元兵士たちの証言』明石書店一九九二年
- 20、千葉県高等学校教職員組合平和教育推進委員会『あらためて考える日本と朝鮮』一九九五年
- 21、『昭和 20 年内鮮関係書類綴』新潟県警察部特高課(『朝鮮問題資料叢書』13 所収)
- 22、『昭和 20 年内鮮報告書類編冊』千葉県警察部特高課(『同』所収)
- 23、「半島人各府県別割当人員表」一九四二年(朝鮮人強制連行真相調査団『資料集』1 所収)
- 24、金浩「日本軽金属(株)による富士川水電工事と朝鮮人労働者動員」(『在日朝鮮人史研究』19 所収)
- 25、平林久枝「敗戦前山梨県白根町に徴用で連行された朝鮮人」(『朝鮮人史研究』10 所収)
- 26、『海軍施設系技術官の記録』同刊行会 1972 年
- 27、千葉県歴史教育者協議会『学校が兵舎になったとき』青木書店一九九六年
- 28、黒須俊夫「『日立航空機』大網地下工場跡の幻影」『千葉史学』24 一九九四年
- 29、平和マップづくり実行委員会『平和ウォーキングマップ川崎』教育史料出版会一九九五年
- 30、「百万人の身世打鈴」編集委『百万人の身世打鈴』東方出版一九九九年
- 31、神奈川県歴史教育者協議会編『近代神奈川の史話三一選』二〇〇一年
- 3 2、野添憲治『秋田の朝鮮人強制連行』彩流社 1999 年
- 33、山梨県戦争遺跡ネットワーク編『山梨の戦争遺跡』山梨日日新聞社、2001 年
- 3 4 捷野善助『茂原市東南部発達史』長生新聞社 1969 年
- 3 5 千葉県日本韓国朝鮮関係史研究会編『千葉のなかの朝鮮』明石書店 2001 年
- 3 6 『被徴用死亡者連名簿』

4) 関東 2 東京・埼玉・栃木・群馬・茨城

- 1 . 厚生省勤労局「朝鮮人労働者に関する調査」1946 年
- 2 . 中央協和会「移入朝鮮人労働者状況調」1942 年
- 3 . 石炭統制会「主要炭鉱給源別現在員表」「給源別労働者月末現在数調」1944 年(長澤秀編『戦時下朝鮮人中国人連合軍俘虜強制連行資料集』1 緑陰書房 1992 年所収)
- 4 . 石炭統制会東部支部「勤労者 現在数調」1945 年(同上『資料集』4 所収)
- 5 . 「半島労働者配置状況」(国鉄) 1945 年(朝鮮人強制連行真相調査団『資料集』10 1996 年所収)
- 6 . 日本鉱業「所長会議資料(3)」1941 年(朴慶植『朝鮮人強制連行の記録』未来社 1965 年所収)
- 7 . 群馬県『知事事務引継書』1944 年 10 月
- 8 . 『朝鮮人陸軍軍人調査名簿』1946 年
- 9 . 新潟県警察部特別高等課『内鮮関係書類綴』1945 年(朴慶植編『朝鮮問題資料叢書』13 1990 年所収)
- 10 . 相沢一正「茨城県における朝鮮人中国人強制連行に関するノート」(『朝鮮人強制連行論文集成』明石書店 1993 年所収)
- 11 . 相沢一正「日立鉱山と朝鮮人」山田昭次「日立鉱山朝鮮人強制連行の記録」(同上所収)
- 12 . 埼玉新聞「比企丘陵からの証言」(同上所収)
- 13 . 長澤秀「戦時下常磐炭田における朝鮮人鉱夫の労働と闘い」(同上所収)
- 14 . 栃木県朝鮮人強制連行真相調査団『遙かなるアリランの故郷よ』随想舎 1998 年
- 15 . 群馬県朝鮮人韓国人強制連行犠牲者追悼碑を建てる会『「消し去られた歴史」をたどる』1999 年
- 16 . 埼玉県朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録 埼玉編 中間報告』19

98年

17. 樋口雄一『戦時下朝鮮の農民生活誌』社会評論社1998年
18. 伊藤孝司『棄てられた皇軍』影書房1995年
19. 百萬人の身世打鈴編集委員会編『百萬人の身世打鈴』東方出版1998年
20. 李容極「東京西部の朝鮮人強制連行の記録」(東京都歴史教育者協議会『東京の歴史教育』26号所収)1997年
21. 西東京朝鮮人強制連行真相調査団『あの忌まわしい過去は再び繰り返されてはならない』1997年
22. 東京都歴史教育者協議会『東京の戦争と平和を歩く』平和文化1995年
23. 齋藤勉『地下秘密工場』のんびる社1990年
24. 朴慶植『朝鮮人強制連行の記録』未来社
25. 日本土木建築統制組合「昭和20年度第12次朝鮮人労務者割当表」1945年
26. 「埼玉と朝鮮」編集委員会編『くらしの中から考える埼玉と朝鮮』1992年
27. 朝鮮人強制連行真相調査団『強制連行された朝鮮人の証言』明石書店1990年
28. 中央協和会「移入朝鮮人労務者定着督励班派遣要綱」1944年(朴慶植『在日朝鮮人関係資料集成』5、1976年所収)
29. 江東在日朝鮮人の歴史を記録する会『東京のコリアンタウン枝川物語』樹花舎1995年
30. 石田真弓『故郷はるかに』アジア問題研究所1985年
31. 茶園義男編『大日本帝国内地俘虜収容所』不二出版1986年
32. 神奈川と朝鮮の関係史調査委員会『神奈川と朝鮮』神奈川県1994年
33. 一條三子「埼玉県比企地域の地下軍事施設と朝鮮人労働者」(『在日朝鮮人史研究』21所収)1996年34. 下野チョソン問題研究会「栃木、茨城県下における強制連行、労働に関する調査状況」(『強制連行調査ネットワークの集い2000神戸資料集』)2000年
35. 「半島人各府県別割当人員表」(朝鮮人強制連行真相調査団『資料集』1所収)1942年
36. サクシヨン瓦斯機関製作所「半島労務者二関スル書類」1945年
37. 林えいだい『朝鮮海峡』明石書店1988年
38. 内務省警保局『特高月報』『社会運動の状況』(前掲朴慶植編『資料集成』4、5所収)
39. 季刊『群馬評論』第47号1991年
40. 野口毅『台湾少年工と第二の故郷』展転社1999年
41. 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録兵庫編』柏書房1993年

5) 中部・東海 愛知・静岡・三重・岐阜・長野・石川・富山

- 1 厚生省勤労局「朝鮮人労務者に関する調査」
- 2 三重県「知事引継ぎ書」1945年
- 3 中央協和会「移入朝鮮人労務者状況調」1942年
- 4 朝鮮人強制連行真相調査団『強制連行された朝鮮人の証言』明石書店1990年
- 5 梁泰?編『朝鮮人強制連行論文集成』明石書店1993年
- 6 『証言する風景』風媒社1991年
- 7 『戦時下・愛知の諸記録』あいち平和のための戦争展実行委員会1996年
- 8 「時効のない足跡」(『日本と朝鮮』連載)日朝協会愛知県連
- 9 愛知県朝鮮人強制連行真相調査団『活動記録資料集』1994年
- 10 伊藤孝司『従軍慰安婦・女子勤労挺身隊』風媒社1992年
- 11 ピッタムの会『ピッタム地下軍需工場建設と朝鮮人強制連行の記録』1990年
- 12 『半田の戦争記録』半田市1995年
- 13 『悲しみを繰り返さぬようにここに真実を刻む』東南海地震旧三菱名航道徳工場犠牲者調査

追悼実行委員会 1988年

- 14 強制連行展ぎふ1996実行委員会『岐阜県強制連行ガイドブック』1996年
- 15 岐阜県歴史教育者協議会『街も村も戦場だった』1995年
- 16 久保井規夫『地下軍需工場と朝鮮人強制連行』明石書店1995年
- 17 島津威雄「イギリス人捕虜300人と朝鮮人労働者500人」(大阪人権歴史資料館『朝鮮侵略と強制連行』) 解放出版社1992年

- 18 『熊野紀州鉦山新宮現地調査資料集』李基允・裴相度の追悼碑を建立する会1995・96年
- 19 岩脇彰「三重における戦争遺跡の掘り起こし」(『歴史地理教育』) 1995年9月
- 20 石川県教祖金沢支部平和教育専門委『地域に学ぶ日本の侵略史』1993年
- 21 小松現代史の会『石川県における朝鮮人戦時労働力動員』1～3 1992～93年
- 22 加端忠和「白鳥地下軍需工場建設(未完)の強制連行朝鮮人と直下村の人々」(『えぬのくに』37江沼地方史研究会) 1992年
- 23 長野県歴史教育者協議会『僕らの街にも戦争があった』銀河書房1988年
- 24 長野県歴史教育者協議会『戦争を掘る』1995年
- 25 大野俊『赤い川』第3書館1986年
- 26 長野日報「異国の谷で」1995年9月28日～10月12日
- 27 里山辺朝鮮人中国人強制労働調査団『里山辺における朝鮮人中国人強制労働の記録』1992年 『訪中調査報告集』1996年

- 28 『松本市における戦時下軍需工場の外国人労働実態報告書』松本市史近代現代部門編集委員会 1992年
- 29 山根昌子編『松代大本営を考える』1・2新幹社1991年
日垣隆『松代大本営の真実』講談社 1994年
- 30 強制連行の足跡をたどるIN富山『草民譜』1～8 1991～95年
- 31 古庄正『強制連行の企業責任』創史社1993年
山田昭次・田中宏編『隣国からの告発』創史社1996年
- 32 伊藤孝司『破られた沈黙』風媒社1993年
- 33 内田すえの・此川純子・堀江節子『黒部底方の声』桂書房1992年
- 34 澤田純三「太平洋戦争化の雄神地下工場について」(『近代史研究』15富山県近代史研究会) 1992年

- 35 荻野富士夫「富山県における『労務慰安婦』について」(『戦争責任研究』6) 1994年
- 36 不二越訴訟関係資料
- 37 朝日新聞富山支局「戦時下のハングル」1991年11月29日～12月12日
- 38 第4回朝鮮人中国人強制連行強制労働を考える全国交流集会『資料集』1993年
- 39 土木工業協会・電力建設業協会『日本土木建設業史』技報堂1971年
- 40 兵庫朝鮮関係研究会『地下工場と朝鮮人強制連行』明石書店1990年
- 41 静岡県近代史研究会『史跡が語る静岡の15年戦争』青木書店1994年
- 42 静岡県朝鮮人歴史研究会『朝鮮人強制連行の傷跡』1995年
- 43 戦後責任を問う関釜裁判を支援する会『強制動員された朝鮮の少女たち』1995年
- 44 東京都立館高校フィールドワーククラブ『これが運命だ・姜壽熙さんの聞き取り』1994年
- 45 沢田猛『石の肺』技術と人間1985年
- 46 金浩「日本軽金属による富士川発電工事と朝鮮人労働者動員」(『在日朝鮮人史研究』19) 1989年

- 47 平井和子『西伊豆土肥の女たち』長倉書店1985年
- 48 小長谷澄子「静岡の遊郭2丁目(4)」(『静岡県近代史研究』19静岡県近代史研究会)1983年
- 49 小池善之「戦時下朝鮮人女性の労働動員・東京麻糸紡績沼津工場の朝鮮人女子挺身隊を手がかりとして」(『静岡県近代史研究』22)1996年
- 50 竹内康人「戦時下の地下工場・飛行場建設と朝鮮労働力動員」(『静岡県近代史研究』18・19)1992・93年
- 51 愛知県朝鮮人強制連行調査班・日朝協会愛知県連『朝鮮女子勤労挺身隊と勤労働員・朝鮮「毎日新報」(1943～45)から』1993年
- 52 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録 大阪編』柏書房1993年
- 53 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録 四国編』柏書房1992年
- 54 日本土木建築統制組合「昭和20年度第1次朝鮮人労働者割当表」
- 55 「半島労働者配置状況」(朝鮮人強制連行真相調査団『資料集』10・1996年)
- 56 『昭和の戦争と沼津』沼津市明治史料館 1995年
- 57 枝村三郎『静岡県民衆運動史1』静岡県歴教協1987年
- 58 『1・20学兵史記』1987年
- 59 震洋会編『人間兵器震洋特別攻撃隊』国書刊行会1990年
- 60 「半島人各府県別割当人員表」(朝鮮人強制連行真相調査団『資料集』1・1992年)
- 61 川瀬俊二『もうひとつの現代史序説』ブレンセンター1987年

6) 近畿・四国 大阪・兵庫・奈良・和歌山・京都・福井・滋賀・高知・愛媛・香川・徳島

- 1 厚生省勤労局「朝鮮人労働者に関する調査」1946
- 2 中央協和会「移入朝鮮人労働者状況調」1942
- 3 『特高月報』
- 4 「半島労働者配置状況」国鉄関係1945
- 5 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録大阪編』柏書房1993
- 6 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録兵庫編』柏書房1993
- 7 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録四国編』柏書房1992
- 8 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録中部東海編』柏書房1997
- 9 朝鮮人強制連行真相調査団『強制連行された朝鮮人の証言』明石書店
- 10 大阪府朝鮮人強制連行真相調査団調査報告表
 - 11 朴慶植編『在日朝鮮人関係資料集成5』三一書房1976
 - 12 『故郷への轍』冊子刊行委員会1995
 - 13 兵庫朝鮮関係研究会『地下工場と朝鮮人強制連行』明石書店1990
 - 14 鄭鴻永『歌劇の街のもうひとつの歴史』神戸学生青年センター1997
 - 15 『大阪港史3』
 - 16 古庄正「連行朝鮮人未払い金供託報告書」駒沢大経済学会23-1 1991
 - 17 内外労働研究所『内外労働週報』
 - 18 京都府朝鮮人強制連行真相調査団『京都府の朝鮮人強制連行』1・2 1991・1993
 - 19 「知事事務引継演説書」京都府 1945・6
 - 20 和久田薫『地域で育てる社会認識』部落問題研究所1990
 - 21 『被徴用死亡者連名簿』
 - 22 大日本産業報国会『殉職産業人名簿』
 - 23 川瀬俊治『奈良・在日朝鮮人史』ブレンセンター1985
 - 24 田中寛治編『朝鮮人強制連行強制労働ガイドブック奈良編』解放出版社1997

- 高野真幸編 『朝鮮人強制連行強制労働ガイドブック資料集奈良編 1』みずのわ出版 1998
- 高野真幸編 『朝鮮人強制連行強制労働ガイドブック資料集天理・柳本飛行場編』解放出版社 1999
- 樋口雄一 『戦時下朝鮮の農民生活誌』社会評論社 1998
- 『告発証言集 2』朝鮮日本軍「慰安婦」強制連行被害者補償対策委員会 2003
- 『由良町の「侵略」の跡』日本の侵略を知るわかやまの会 1998・同会調査史料
- 百萬人の身世打鈴編集委員会 『百萬人の身世打鈴』東方出版 1999
- 金慶海ほか 『鉱山と朝鮮人強制連行』明石書店 1987
- 朝鮮人強制連行真相調査団 『朝鮮人強制連行調査の記録中国編』柏書房 2001
- 川瀬俊治 『もうひとつの現代史序説』ブレンセンター 1987
- 『朝鮮人軍人調査名簿』
- 『ワシらは鉱山で生きてきた』丹波マンガン記念館 1992
- 『朝鮮人強制連行強制労働ガイドブック高槻タチソ編』解放出版社 1999
- 神戸港における戦時下朝鮮人中国人強制連行を調査する会 『神戸港強制連行の記録』明石書店 2004
- 『ガイドブック高知の戦争遺跡』平和資料館草の家 2000
- 尾上守・松原満紀 『住友別子銅山で「朴順童」が死んだ』晴耕雨読 1997

7) 中国 広島・岡山・山口・島根・鳥取

- 1 中央協和会「移入朝鮮人労務者状況調」1942年（朝鮮人強制連行真相調査団『強制連行された朝鮮人の証言』1990年明石書店所収）
- 2 石炭統制会「主要炭礦給原種別現在員表」「給原種別労務者月末現在数調」（長澤秀編『戦時下朝鮮人中国人連合軍俘虜強制連行資料集・』緑陰書房 1992年所収）
- 3 呉海軍工廠福浦第二寄宿舍「舎生帰郷先」1946年（前掲『強制連行された朝鮮人の証言』所収）
- 4 「都茂鉱山調査表」1946年（同所収）
- 5 山口県「昭和二十年国民義勇隊一件」「昭和十八年度職工移動状況調」
- 6 山口県警察部「勤労者ノ緊急派遣体制整備二関スル件」（『昭和二十年度重要書類綴』）
- 7 「半島労務者配置状況」国鉄関係 1945年（朝鮮人強制連行真相調査団『資料集 10』1996年所収）
- 8 徳山海軍燃料廠史編纂委員編『徳山海軍燃料廠史』1989年
- 9 海軍歴史保存会『日本海軍史 7』1996年
- 10 土木工業会電力建設業協会『日本土木建設業史』技報堂 1971年
- 11 広島の強制連行を調査する会『地下壕に埋もれた朝鮮人強制労働』明石書店 1992年
- 12 内務省警保局『特高月報』
- 13 梶村秀樹「海がほけた」（『在日朝鮮人史研究』10所収）「資料山口県長生炭鉱の朝鮮人労務管理について」（同 21）『宇部地方史研究』19（長生炭鉱特集 1994年3月）朝日新聞（西日本）「名簿をたどる」1990年8月24～28日
- 14 戸島昭「徴用・動員・強制連行 戦時下山口県の工場労働者」（梁泰昊編『朝鮮人強制連行論文集』明石書店 1993年所収）
- 15 山口県朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録』、『続・朝鮮人強制連行調査の記録』1994年・1995年
- 16 内藤正中『日本海地域の在日朝鮮人』多賀出版 1989年
- 17 第8回朝鮮人中国人強制連行強制労働を考える全国交流会・山陰実行委『山陰強制連行ハンドブック』1997年

- 18 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録大阪編』柏書房 1993年
- 19 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録兵庫編』柏書房 1993年
- 20 朴慶植『朝鮮人強制連行の記録』未来社 1965年
- 21 広島朝鮮人被爆者協議会『白いチョゴリの被爆者』労働旬報社 1979年
- 22 朴寿南『もうひとつのヒロシマ』舎廊房出版部 1982年
- 23 『忘れられた兵士たち・ヒロシマ朝鮮人救援部隊』NHK 1991年10月
- 24 鄭忠海『朝鮮人徴用工の手記』河井出版 1990年
- 25 広島長崎の証言の会『イルボンサラムへ』汐文社 1986年
- 26 朴秀馥・郭貴勲・辛泳洙『被爆韓国人』朝日新聞社 1975年
- 27 中国新聞社呉支局『呉空襲記』1979年
- 28 三菱広島元徴用工被爆者裁判を支援する会『三菱は未払い賃金を支払え！』1996年
- 29 県北の現代史を調べる会『戦時下広島県高暮ダムにおける朝鮮人強制労働の記録』三次地方史研究会 1689年
- 30 「半島人各府県別割当人員表」1942年（朝鮮人強制連行真相調査団『全国交流集会資料集1』1992年所収）
- 31 日本海新聞「差別と酷使の日々」1990年（前掲梁泰昊編『朝鮮人強制連行論文集成』所収）
- 32 『米国戦略爆撃調査団報告書』
- 33 広島市『広島原爆戦災誌』1971年
- 34 広島市祇園公民館『原爆と祇園町』1986年
- 35 廿日市町『廿日市町史』資料編 1975年
- 36 海田町『海田町史』1986年
- 37 高田郡町村会『高田郡史下』1974年
- 38 向原町『向原町誌下』1989年
- 39 三菱重工業三原製作所『三原製作所20年史』1966年
- 40 大竹市『大竹市史』1970年
- 41 日本の空襲編集委員会『日本の空襲7』中国・四国 1980年
- 42 大林組『大林組80年史』1972年
- 43 呉地方復員局「旧海軍の地下施設について」（防衛庁防衛研修所戦史部）1951年
- 44 鎌田定夫編『被爆朝鮮・韓国人の証言』朝日新聞社 1982年
- 45 吉留路樹編『アイゴ！ムルダラ』二月社 1980年
- 46 壇正二『第一一海軍航空廠発動機部之記録』1983年
- 47 日本製鋼所『日本製鋼所社史資料下巻』1968年
- 48 呉造船所『船をつくって八十年』1968年
- 49 東洋工業『東洋工業株式会社三十年史』1950年、『東洋工業五十年史沿革誌』1972年
- 50 三菱造船広島造船所『広船の歩み 二十年史』1964年
- 51 三井造船『三十五年史』1953年
- 52 錫村満『似島原爆日誌』汐文社 1986年
- 53 肥田舜太郎『広島が消えた日』日中出版 1982年
- 54 掘元美『続鷺色の襟章』原書房 1976年
- 55 浄法寺朝美『日本防空史』原書房 1981年
- 56 上川繁人『思い出の記』1983年
- 57 原水爆禁止似島小年少女のつどい実行委員会『似島 広島とヒロシマを考える』1990年
- 58 中村敏「広島、その日」『大東亜戦史第九国内編』富士書苑 1971年
- 59 小倉豊文『広島原爆の手記』八雲井書店 1970年
- 60 深川宗俊『鎮魂の海峡』現代史出版会 1974年
- 61 国立公文書館蔵「府県別軍需会社一覧」防衛庁防衛研究所戦史部蔵「日本兵器工業会社資料」
- 62 坪内廣清『「募集」という名の強制連行』彩流社 1998年

- 63 石田米子「岡山県における在日朝鮮人史の概要および研究の状況」（『在日朝鮮人研究の現段階』在日朝鮮人運動史研究会関西部会1991年）
- 64 花房英俊『はじまりはアヒランから』平和文化1992年
- 65 亀島山地下工場を語りつくす会『亀島山地下工場』1990年
- 66 1・20同志会『虐げられた青春』青丘文化社1991年
- 67 「朝鮮出身死没元陸軍及海軍軍属御遺骨等奉安名簿」呉・福岡復員部1955年複写
- 68 「岩美鉱山犠牲者名簿」
- 69 東洋工業「半島応徴士身上調査表」1945年
- 70 大日本産業報国会『殉職産業人名簿』
- 71 復員局「旧陸軍関係主要地下軍事施設調査表」1951年
- 72 岡山15年戦争資料センター『岡山の記録1』1999年
- 73 伊藤孝司『捨てられた皇軍』影書房1995年
- 74 日立金属安来工場100年史編集委員会『日立金属株式会社安来工場100年の歩み』1999年
- 75 『海軍施設系技術官の記録』同刊行委員会1972年
- 76 樋口雄一『戦時下朝鮮の農民生活誌』社会評論社1998

8)九州1 佐賀・福岡・長崎 および

9)九州2 大分・熊本・宮崎・鹿児島、 沖縄

- 1 厚生省勤労局「朝鮮人労働者に関する調査」1946年・福岡・佐賀・長崎分
- 2 中央協和会「移入朝鮮人労働者状況調」1942年
- 3 内務省警保局「募集二依ル朝鮮人労働者ノ状況」1939年（『在日朝鮮人関係資料集成4』）
- 4 石炭統制会「主要炭鉱給源種別現在員表」「給源別労働者月末現在数調」（『戦時下朝鮮人中国人連合軍俘虜強制連行資料集』1）
- 5 内務省警保局『特高月報』『社会運動の状況』（『在日朝鮮人関係資料集成4・5』）
- 6 「半島人労働者配置状況」国鉄1945年（『資料集10』朝鮮人強制連行調査団）
- 7 福岡県「労働動員計画二依ル移入労働者事業場別調査表」1944年
- 8 日本製鉄八幡製鉄所「朝鮮人労働者等に関する未払金の供託についての報告書」（古庄正「連行朝鮮人未払い金供託報告書」駒澤大学『経済論集』23-1所収）
- 9 『被徴用者死亡者連名簿』全羅北道分
- 10 明治平山坑「朝鮮人坑夫移入人員推移表」（田中直樹「第2次大戦期における朝鮮人「移入」労働者について」日本大学生産工学部研究報告B26-1所収）
- 11 三井三池炭鉱「労働者名簿」朝鮮人分1943～45
- 12 北海道炭鉱汽船「徴用労働者5月輸送状況報告ノ件」（『朝鮮募集関係』1945年所収）
- 13 杵島炭鉱「従業員氏名索引簿」（『原爆と朝鮮人6』）
- 14 特設水上勤務中隊第104中隊「陣中日誌」（『本部町史資料編1』）
- 15 朝鮮人強制連行真相調査団『強制連行された朝鮮人の証言』明石書店1990年
- 16 朝鮮人強制連行真相調査団『1970年代強制連行真相調査の活動』1992年復刻
- 17 朝鮮人強制連行真相調査団『各地の朝鮮人強制連行真相調査団の活動』1992年
- 18 朝鮮人強制連行真相調査団『第2次大戦沖縄朝鮮強制連行虐殺真相調査報告書』1972年
- 19 『筑豊石炭鉱業史年表』田川郷土研究会1973年
- 20 前川雅夫『炭坑誌』葦書房1990年
- 21 日本鉱業『所長会議資料3』1941年（朴慶植『朝鮮人強制連行の記録』）
- 22 『九州の強制連行』全国交流集会九州実行委員会1999年
- 23 大分県朝鮮人強制連行共同調査団『朝鮮人「強制連行」大分県の記録』1993年

- 24 福岡部落史研究会『部落解放史ふくおか』51・52 1988年
- 25 林えいだい『妻たちの強制連行』風媒社1994年
- 26 福富登巳男・林えいだい『異郷の炭坑』海鳥社
- 27 朴壽南『もうひとつのヒロシマ』舎廊房出版1982年
- 28 林えいだい『清算されない昭和』岩波書店1990年
- 29 林えいだい『消された朝鮮人強制連行の記録』明石書店1989年
- 30 林えいだい『強制連行強制労働』現代史出版会1981年
- 31 林えいだい『地図にないアリラン峠』明石書店1994年
- 32 林えいだい『死者への手紙』明石書店1992年
- 33 長澤秀「貝島炭礦と朝鮮人強制連行」(『青丘学術論集14』1999年)
- 34 日鉄八幡製鉄所「移入朝鮮人労務者二関スル調査」1944年(『在日朝鮮人関係資料集成5』)
- 35 吉浦祐司「築城基地にのこる強制労働の傷跡」(『パトローネ』15)1993年
- 36 福岡県協和会「朝鮮人移入労働者移動防止対策」1943年(『在日朝鮮人関係資料集成5』)
- 37 鄭清正『怨と恨と故国と』日本エディタ・スクール出版部1989年
- 38 上野英信・趙根在『アリラン峠・写真万葉録筑豊9』葦書房1986年
- 39 田中直樹「戦時期における朝鮮人鉱夫の雇傭状態」(『近代日本民衆の記録』10所収)
- 40 八幡製鉄の元徴用工問題を追及する会『八幡製鉄と強制連行』1998年
- 41 李興燮『アボジが越えた海』葦書房1987年
- 42 長崎在日朝鮮人の人権を守る会『原爆と朝鮮人』1 1982年
- 43 長崎在日朝鮮人の人権を守る会『原爆と朝鮮人』2 1983年
- 44 長崎在日朝鮮人の人権を守る会『原爆と朝鮮人』3 1984年
- 45 長崎在日朝鮮人の人権を守る会『原爆と朝鮮人』4 1986年 端島史料
- 46 長崎在日朝鮮人の人権を守る会『原爆と朝鮮人』5 1991年 崎戸史料
- 47 長崎在日朝鮮人の人権を守る会『原爆と朝鮮人』6 1994年
- 48 小松裕「近代の縮図球磨郡深田銅山の歴史」(『文学部論叢』57熊本大学)1997年
- 49 長崎証言の会『季刊長崎の証言6』1980年
- 50 金光烈『田川地方における石灰山と朝鮮人労働者』岡まさはる長崎平和資料館1999年
- 51 朴慶植『朝鮮人強制連行の記録』未来社1965年
- 52 指紋押捺を考える熊本の会「阿蘇町聞き取り調査記録」(同会ニュース11)1991年
- 53 指紋押捺を考える熊本の会「植木地下工場フィールドワーク報告」(同会ニュース12)1991年
- 54 指紋押捺を考える熊本の会「三菱航空機製作所大津地下工場を訪ねて」(同会ニュース17)1994年
- 55 小松裕「日米開戦50年(6)熊本からの視点」熊本日日新聞1991年11月21日付
- 56 岡本達明・松崎次夫編『聞書水俣民衆史』4 草風館1990年
- 57 全国一般長崎連帯支部『三菱重工と日本政府の戦後責任を問う』1992年
- 58 「終わりなき旅路」南日本新聞1991年8月8日～16日付
- 59 「朝鮮人軍夫」南日本新聞1991年9月15日付
- 60 「筑豊炭鉱に慰安所あった」朝日新聞福岡版1992年2月21日付夕刊
- 61 福地曠明『哀号朝鮮人の沖縄戦』月刊沖縄社1986年
- 62 海野福寿・権丙卓『恨・朝鮮人軍夫の沖縄戦』河出書房新社1987年
- 63 「忘れられた戦没者・朝鮮人たちの沖縄戦」1～5 琉球新報1989年6月18日～23日付
- 64 朴壽南編『アリランのうた・オキナワからの証言』青木書店1991年
- 65 山田盟子『慰安婦たちの太平洋戦争沖縄編』光人社1992年

- 66 三木健『沖縄西表炭坑史』日本経済評論社1996年
- 67 沖縄平和ネットワーク編『新歩くみる考える沖縄』沖縄時事出版1997年
- 68 伊藤孝司『原爆棄民』ほるぶ出版1987年
- 69 『南風原が語る沖縄戦』南風原町1999年
- 70 『百万人の身世打鈴』東方出版1999年
- 71 芝竹夫『炭坑と強制連行』筑豊塾2000年
- 72 林えいだい『朝鮮海峡』明石書店1988年
- 73 森岡武雄・蔡晩鎮『はるかなる海峡』空知民衆史講座1982年
- 74 明治炭坑『雇入異動簿綴』1939年
- 75 『日鉄船尾鉱業保険者名簿』
- 76 川田文子『赤瓦の家』筑摩書房1987年
- 77 盛善吉編『もう戦争はいらんとよ』連合出版1987年
- 78 兵庫朝鮮関係研究会『地下工場と朝鮮人強制連行』明石書店1990年
- 79 『三井染料・電気化学工業大牟田工場朝鮮人労務者（徴用）調』
- 80 日鉄二瀬中央坑『索引』（半島鉱員分）
- 81 『川南工業深堀造船所霧島隊朝鮮人名簿』
- 82 山谷哲夫『沖縄のハルモ二』晩聲社1979年
- 83 『昭和18年2月事業別移入朝鮮人調』地方長官会議書類（宮崎県分）1943年
- 84 樋口雄一編『協和会関係資料集』緑陰書房1995年
- 85 金元栄『或る韓国人の沖縄生存記』アリランのうた製作委員会1991年
- 86 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録中部東海編』柏書房1997年
- 87 裴東録「同胞の恨歴史の証に・大牟田馬渡記念碑除幕」（『パトローネ』29）1997年
- 88 李鐘泌『私の見てきた大分県朝鮮民族50年史』1992年
- 89 伊東孝司編『証言従軍慰安婦女子勤労挺身隊』風媒社1992年
- 90 金賛汀『証言朝鮮人強制連行』新人物往来社1975年
- 91 三菱鉱業『飯塚礦業所年表』1958年
- 92 『沖縄・戦争と女性「慰安婦」マップが語るもの』第5回全国女性史研究交流のつどい1992年
- 93 西日本新聞1992年8月30日付
- 94 『長崎朝鮮人被爆者一覧表』1982年
- 95 『朝鮮出身死没元陸軍及海軍軍属御遺骨等奉安名簿』呉福岡復員部 1955年複製
- 96 三井三池炭坑『死亡者名簿』1945年
- 97 『殉職産業人名簿』大日本産業報国会1942年
- 98 伊藤孝司『棄てられた皇軍』影書房1995年
- 99 吉留路樹『アイゴムルダルラ』二月社1980年
- 100 坪内廣清『「募集」という名の強制連行』彩流社1998年
- 101 『海軍施設系技術官の記録』同刊行委員会1972年

強制労働現場一覧表は、<http://www16.ocn.ne.jp/~pacohama/sensosekinin/flaber0506.html>
同一覧表を、エクセルのファイルにしてPDFファイルにしたものは、
<http://www.ksyc.jp/sinsou-net/takeitu-itiran.pdf> にあります。